

KOKUSAI

No.423

2022年10月20日

発行所:国際労働組合

■発行責任者:石田欽久

■報道部長:吉本るみ

http://www.klu.jp/



〒107-0052
港区赤坂2-8-3 km赤坂ビルANNEXII 3階
TEL.03-3586-2501 E-mail:info@klu.jp

第48回

ゆるゆるサークル

神宮参拝と歴史を巡る
伊勢・尾張

3年ぶりの開催です!
皆さん、おおいに
楽しんで下さい!!



北里中央執行委員長

第48回ゆるゆるサークルは2022年9月5日(月)~6日(火)の1泊2日の日程で「神宮参拝と歴史を巡る伊勢・尾張」と題して10支部・1分会・フレンドリークラブを含め総勢144名の参加により、2019年以来3年ぶりに開催されました。

開催にあたっては、参加者全員に事前の抗原検査を行ってもらい、行程中の検温や手指消毒、マスク着用、バス内では水分補給以外の飲食禁止を行うなど、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しました。

1日目は東京駅の日本橋口へ支部毎に集合し、9時33分発東海道新幹線ひかり637号で名古屋に向かいました。名古屋駅において大阪からの参加者と合流し、お出迎えの名鉄観光バスのガイドさんの誘導で観光バスへ乗車し、マニアはもちろんのこと多くの参加者が心躍らせる「リニア鉄道館」へと向かいました。館内見学の前に開式を行い、北里中央執行委員長より「3年ぶりのゆるゆるサークルが実現できました。皆さん2日間おおいに楽しんで下さい。」と挨拶があり、館内イベント広場において集合写真を撮った後、参加者は展示列車の数々を見学したり、楽しみにしていた昼食の「なごや満載弁当」に舌鼓を打つなど時間一杯リニア鉄道館を満喫していました。

そしてよいよ伊勢路へ出発し、二見興玉(おきたま)神社の夫婦岩参拝では突如「みそぎの雨」(?)に遭いましたが、おかげでくっきりと虹のかかる光景が見られるという幸運にも恵まれ、早速ご利益を授かった気持ちになりました。そして1日目最後の見学場所と

なるミキモト真珠島では、日本ではここだけでしか見られないという海女さんの素潜り実演を見学し、島内の「パールプラザ」では、素敵な真珠の数々とその値段にため息をつきながら、それでも参加者の中には、家族への日頃の感謝にと買い求める方もおり、思い思いに楽しい時間を過ごしていました。

宿泊の伊勢志摩国立公園/鳥羽浦の「しんわ千季 戸田家」には、例年に比べて早めの到着ということもあり、大浴場や露天風呂を存分に楽しんで、夕食会の時間を迎えました。

恒例の大抽選会では、コロナ禍ということもあり歓声こそ上げられないものの、笑顔あふれるひとときとなりました。

2日目はゆるゆるサークルでは11年ぶりとなる伊勢神宮(外宮・内宮)の参拝と、おはらい町(おかげ横丁)の散策を行いました。神宮ではバスガイドさんの誘導で厳かな面持ちで参拝をし、おはらい町・おかげ横丁では伊勢名物を堪能したり買い物したりと各々が目いっぱい楽しく過ごしていました。昼食場所の関ドライブインでは「松阪牛すき焼き」を堪能し、行程の最後となる尾張名古屋のシンボリック存在の名古屋城を訪れ、本丸御殿の見学や支部毎に名古屋城をバックに写真を撮るなど、参加者は名残を惜しんでいました。

開催前から大型台風11号の影響が心配されたものの、参加者の想いが神様に通じたのか用意した雨具を使う事も殆どなく帰路に就くことができました。

参加者の皆さん、2日間お疲れ様でした。また、楽しい企画を考えていきますので今回参加できなかった皆さんも是非次回はご参加ください。お待ちしております。

撮影ポイントがたくさん!

懐かしの0系新幹線!

虹のかかる夫婦岩!

いゃー楽しいねえ

いろいろ見応えがあります!

ミキモト真珠島で海女さんの素潜りを見学!

やっぱり旅は楽しいね

おはらい町は大にぎわい!

行きたいところが多くて迷うねえ!

雄大な名古屋城、復元された本丸御殿は圧巻です!

お伊勢参り!神宮内の凜とした空気に圧倒されます

旅先で食べるとなぜこんなに美味しいの?!

3年ぶりのゆるゆるサークル、改めて楽しさを実感しました!



2日目

9月6日 火

第48回

ゆるゆるサークル

神宮参拝と歴史を巡る
伊勢・尾張

1日目

9月5日 月

旅館からバスで
出発です!



体温チェック
準備よし!



旅の安全は
まず検温から!

ゆるゆるサークル
11年ぶりの伊勢神宮へ



厳かな雰囲気
気持ちも引き締まります!

澄んだ流れの
五十鈴川



楽しー♡ 美味しー♡

参拝の後は、
おはらい町・おかげ横丁へ



懐かしいような、
新しいような
不思議な感じです

何だかんだで
これが一番
楽しかったです



食べちゃ
よね~ だよね~

旅の最後は
「尾張名古屋は城で持つ」の
名古屋城へ



本丸御殿に
行ってみよう!

名古屋おもてなし武将隊に遭遇!

次から次へと
撮りたくって
しまう~

戦国武将も
マスクしてる!

時代
だね~

帰ってから写真を見て
また盛り上がる!



旅の始まりは東京駅!



3年ぶりの
ゆるゆるサークル、
嬉しいねえ

駅の待ち合わせも
ワクワクです

車内では会話も弾みます!



列車の旅を思う存分楽しみました!

新幹線に
乗るのも
久しぶりだな~

アイス
いかが
ですか?

(ハハ)

アイス!

なごや
満載弁当、
美味しいです!



お弁当を食べたら、
リリア鉄道館の見学へ!!



電車好きにはたまらない!

むー、
なるほどー

数々の列車を間近に
皆さんの興奮が収まりません!

みんなで
写真撮影も
久しぶりー!

2022年9月5日月

続いては
夫婦岩へ移動



シャッターを
押すのに忙しい!!

ちょっと
雨に降られ
ました...

ここで
虹が見られると
思わなかった!

鳥羽湾に浮かぶ
ミキモト真珠島へ



視線の先には...

海女さんの素潜りの見学!

真珠の輝きに魅了されています!

獲り
ました!

買い
ました!

夜はお待ちかねの夕食会で盛り上がりました!!



久しぶりの仲間との会話も弾みます!

お腹もココロも
満足です!

第29期 支部長執行員・分会長・副支部長研修会



第29期 支部長執行員・分会長・副支部長

2022年5月24日(火)〜25日(水)の1泊2日で、神奈川県三浦市「マホロバ・マインズ三浦」において、長年にわたり講師としてお世話になっている日本労働教育研究所代表 勝又浩正先生の監修のもと、本部役員をはじめ、支部長執行員11名、分会長1名、副支部長17名の出席で、第29期支部長執行員・分会長・副支部長研修会を開催しました。

友永組織部長による開講宣言の後、北里中央執行委員長より「今回は長年お世話になっている勝又先生がご臨席いただけない初めての研修会となりましたが、研修の内容を決めよう」と挨拶がありました。

オリエンテーションが行われた後に4つのグループに分かれ、各グループに1名の助教を配した「ゼミナール形式」で研修が開始されました。各グループは「規約規定から読み取れる支部長執行員・分会長・副支部長の役割」について再度確認したうえで、



北里中央執行委員長

2日目はグループ毎に工夫を凝らした研究成果の発表が行われました。今回の研修テーマに対する理解を深めよう、発表に対して活発な質疑応答が交わられていました。

2日目はグループ毎に工夫を凝らした研究成果の発表が行われました。今回の研修テーマに対する理解を深めよう、発表に対して活発な質疑応答が交わられていました。



ゼミナール形式での活発な議論

支部組織内、対組合員、対会社といった様々なシチュエーションにおける、「日常の組合活動に必要なコミュニケーション」について活発な議論を交わし、翌日の「ホワイトボードを活用した発表」に向けて準備を行っていました。議論が白熱するあまり、時間内に発表資料をまとめ上げることに苦戦しているグループも見受けられました。

2日目はグループ毎に工夫を凝らした研究成果の発表が行われました。今回の研修テーマに対する理解を深めよう、発表に対して活発な質疑応答が交わられていました。

国際労働組合における職場委員の基本任務と求められる行動

第29期 財務部長・職場委員研修会

2022年5月25日(水)〜26日(木)の1泊2日で、神奈川県三浦市「マホロバ・マインズ三浦」において、長年にわたり講師としてお世話になっている日本労働教育研究所代表 勝又浩正先生の監修のもと、本部役員をはじめ、財務部長8名、分会長1名、職場委員19名の出席で、第29期財務部長・職場委員研修会を開催しました。

友永組織部長による開講宣言の後、北里中央執行委員長より「今日(木)の1泊2日で、神奈川県三浦市「マホロバ・マインズ三浦」において、職場で直接組合員と接する役割を持つ、労働組合という組織としての最前線で活躍していただく非常に重要な立場であると考えています。今回初めてなので不安に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、今回の研修で何かつかんでいただくと、自信を持って職場に戻っていただければと思います。そもそも労働組合には「労働者の生活の向上」や「職場環境の改善、向上」という目的があつて、それらの実現に向けて組合員一人ひとりがそれぞれの持ち場でしっかりと努力しなければなりません。2日目は発表に備え初日の議論をまとめるとともに、「見やすい掲示」



グループ毎に工夫を凝らした発表



「見やすい提示」を意識した発表資料の作成

「見やすい提示」を意識した発表資料の作成。2日目は発表に備え初日の議論をまとめるとともに、「見やすい掲示」

を意図した模造紙を利用した発表資料を作成し、しっかりとリハーサルをしながら、内容が正しく「伝わる」ことを念頭に置き、グループ毎に研究成果の発表を行いました。発表に対しては活発な質疑応答が行われましたが、質問に対してしっかりと受け答えする様子に、研修に対する理解力の高さがうかがえました。

全グループの発表終了後に、北里中央執行委員長から講評と併せて支部役員として求められる行動や心構え、考え方についての講義をいただき、最後に田北中央副執行委員長の閉講挨拶が行われ、2日間にあたる研修は終了しました。

参加された財務部長・分会長・職場委員の皆さんは、今回の研修で得た知識や経験を活かし、自信をもつて支部業務に取り組みんでいただけることを期待します。2日間大変お疲れさまでした。



第29期 財務部長・職場委員

国際労働組合における組織意思決定の特殊性と中央委員の役目(role)

第29期 中央委員研修会

2022年5月30日(月)〜31日(火)の1泊2日で、東京都府中市「セミナーハウス クロスウエーブ府中」において、長年にわたり講師としてお世話になっている日本労働教育研究所代表 勝又浩正先生の監修のもと、本部役員をはじめ、中央委員49名の出席で、第29期中央委員研修会を開催しました。

友永組織部長による開講宣言の後、北里中央執行委員長より「労働組合にとって『会社に対する拮抗力』、言い換えれば『交渉力』を高めていくうえで組織強化が大変重要であり、そのためには皆さんと共に勉強し知識を高めていくことが必要だ」という事で、運動方針の中心に据え、皆さんにとって貴重な時間を使っているという研修を行っています。また今回の研修では長年研修でお世話になっている勝又先生にご臨席いただいておりますが、今回初めての会場で、「助教」という指導役を置き新しいスタイルで進めていきます。実態に即したわかりやすい内容になっていますので、明日帰るまでに何かつかみ取っていただき、自信をもって職場で活躍していただきたいと思っております。今日(木)にお集りの皆さんは役員自体が初めてという方が全体の1/3程いらっしゃいますが、一歩ずつ自分なりに手ごたえを感じながら

有意義な時間にしていただきたいと思います。短い時間で2日間よろしくお願ひします。」と挨拶がありました。

オリエンテーションが行われた後に8つのグループに分かれ、指導役の助教と共に研究課題に取り組みました。研修の序盤では、規約・規定をもとに中央委員会・中央委員について助教から基本的な講義が行われた後、法律上では設置義務のない「中央委員会」が設置されている意味や、「中央委員会」及び「中央委員」に求められる役割、議決機関の構成員である中央委員と支部執行機関の構成員である職場委員という2つの側面を併せ持たなければならぬ「任務の特殊性」について議論し、4時間弱の非常に短い時間制限のもと研究成果をまとめ上げました。

研究発表は初日に2グループ、2日目に6グループが割り当てられ、ホワイトボードを活用してグループ毎に発表を行いました。発表に対しては「さすが中央委員」と言える厳しい質疑応答が繰り返されました。

全グループの発表終了後に、北里中央執行委員長から講評と併せて中央委員としてのあり方と明日から実践すべきことについて講義をいただき、最後に田北中央副執行委員長の閉講挨拶が行われ、2日間にあたる研修は終了しました。

参加された中央委員の皆さんは、今回の研修で得た知識や経験を活かし、益々活躍されることを期待しています。2日間大変お疲れさまでした。



委員長の話に真剣に耳を傾ける参加者の皆さん



グループ発表にも熱が入ります



第29期 中央委員



中央委員らしいハイレベルな議論

第53回 へら鮎釣り大会

第53回へら鮎釣り大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2年連続で中止を余儀なくされていましたが、開催を心待ちにしていた11支部とフレンドリークラブ合わせて67名(うち女性6名、労供11名、FC6名)の参加で、2022年6月4日(土)、埼玉県羽生市「椎の木湖」において、絶好の晴天のなか開催されました。

6時30分の受付開始前から続々と参加者が集い、釣座抽選後一目散に棧橋に向かい準備を整える姿から、参加者の大会にかける意気込みが伝わってきました。開会式では、今回初めてインストラクターを引き受けていただいた、釣りエサの「マルキュー」アドバイザー 稲村順一さんの紹介がありました。その後、田北中央副執行委員長より、「3年ぶりの開催はお天気にも恵まれ、大変嬉しく思います。今日は気温も27度になるとの予想です。水が補給をしっかりとっていただき、優勝目指して頑張ってください。一日楽しみましょう。」と挨拶がありました。開会式終了後、上位を目指す選手たちが足早に棧橋に向かう一方で、ビギナー参加者は稲村順一アドバイザーより熱心に指導を受けていました。

競技は8時の時報と共に一斉にスタートし、6時間に及ぶ熱い戦いが繰り広げられました。今大会全体の釣果は、へら鮎の活性が悪く327.68kgと前回を大きく下回るなか、前大会の個人戦上位入賞者を多数擁する台東支部がその実力をいかんなく発揮し(67.05kg/76枚)、2位に大差をつけて見事団体戦4連覇を達成しました。準優勝は世田谷支部(46.09kg/50枚)、3位は吉祥寺支部(40.01kg/41枚)となりました。

個人戦は、大塚さんが2連覇達成です！

大塚博和さん(台東支部) 21.44キロ(21枚)

準優勝 関寺昭雄さん(台東支部) 15.23キロ(16枚)

第3位 手束正勝さん(世田谷支部) 14.90キロ(16枚)

女子の部優勝 山崎雅美さん(バス東京支部) 8.22キロ(8枚)

大物賞(1.790キロ)

ダブル受賞!!



第36回 ボウリング大会

第36回ボウリング大会は、2022年7月3日(日)・4日(月)の2日間、品川プリンスホテルボウリングセンターにおいて、11支部延べ224名(うち女性23名、労供16名、フレンドリークラブ14名)の参加で3年ぶりに開催されました。開会式では初日に田北中央副執行委員長より、2日目は北里中央執行委員長より挨拶がありました。北里中央執行委員長からは「久々のボウリング大会が例年と同様の人数で、また品川プリンスホテルボウリングセンターで開催できることを嬉しく思います。今後の組合行事も含めて、より多くの方に参加いただくことで組合の団結、ひいては交渉力の強化に繋がっていきますので、ご理解と積極的な参加をお願いします。」と挨拶があり、昨年優勝の板橋支部より優勝カップの返還及びレプリカの贈呈が行われ、始球式のあと参加者全員による記念撮影が行われました。

競技は神谷文体部長のアナウンスにより一斉にスタートし、「ファーストストライク賞」を狙って投げられた第一投の直後には、久々の大会を心待ちにしていた選手の歓声が各所から聞こえてきました。新型コロナウイルス感染症対策に留意した上での開催ということで、マスク着用やハイタッチの自粛などが行われましたが、ストライクやスペアが出るたびに拍手や声かけ



が起り、普段なかなか交流のない支部や部門の垣根を越えた楽しいコミュニケーションの場となりました。大会初日の個人戦は羽田支部・加藤利明さんが、前回の優勝スコアを上回るトータル658ピンで初優勝を成し遂げました。準優勝は三鷹支部・金子孝則さん(622ピン)が、第3位は羽田支部・立身政雄さん(612ピン)がそれぞれ受賞し、女子の部ではバス東京支部・山崎雅美さん(534ピン)が優勝となりました。

大会2日目の個人戦は板橋支部・和賀井尚也さんが、こちらも非常に好成績となるトータル650ピンで初優勝となりました。準優勝は板橋支部・岡村隆さん(636ピン)が、第3位は羽田支部・阿部康則さん(600ピン)がそれぞれ受賞し、女子の部では品川支部・春日部綾華さん(492ピン)が優勝となりました。団体戦はハイレベル且つ大接戦を制した板橋支部が、5人合計2,880ピンというスコアで3連覇の栄冠を手に入れました。合計9ピン差で惜しくも準優勝となったのは羽田支部(2,871ピン)、第3位は三鷹支部(2,744ピン)となりました。

大会に参加された多くの選手の皆さん、運営委員の皆さん大変お疲れ様でした。来年も多くの方の参加をお待ちしております。



何気ない日常も、狙いを定めた一瞬も!!

第30回 写真コンテスト

応募作品募集中!

今回で30回目を迎える写真コンテストです! 撮影機材は問いませんので、スマートフォン、携帯電話などで撮影した作品でもお気軽にご応募ください。

※応募の詳細は支部掲示板でご確認ください。

応募期限 2022年11月1日(火)